

商品構成

このたびはSUS(株) モニターアームをお買い上げいただきまことにありがとうございました。正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。お読みになったあとは、必ず保管してください。

モニターアーム フレキシブルタイプ[10kg仕様] 取扱説明書

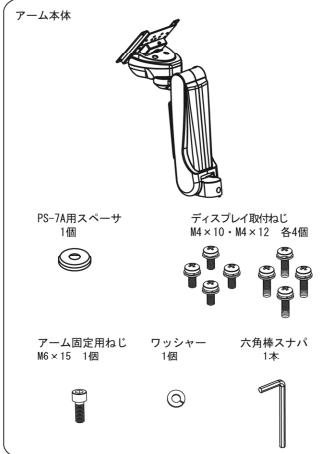
目次

商品構成	1
安全にお使いいただくために	2
ベースビス止め用プラケットの取付け方	3
カバ・柱用ビス止めプラケットの取付け方	4
テーブルクランプ用プラケットの取付け方	4
アームユニットを液晶ディスプレイに付ける	5
アームを取付けプラケットに付ける	6
ケーブルカバーを取り外す	7

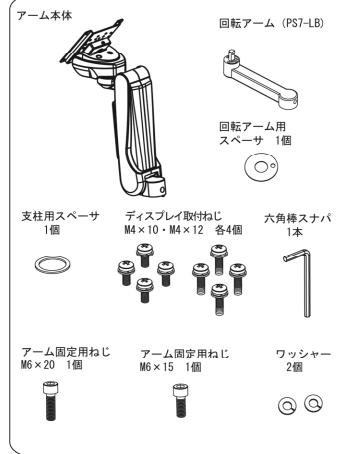
SUS 株式会社

ML48-18-0

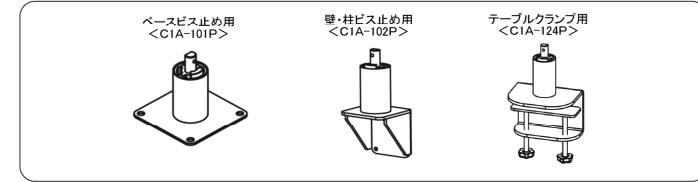
ショートタイプ<C1A-121B>



ロングタイプ<C1A-122B>



取付プラケット (お客様が選択された取付プラケットが入っているかご確認ください。)



-1-

安全にお使いいただくために

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買い上げの販売店にご連絡下さい。
- お客様には第三者がこの製品の使用により、使用中に生じた故障、その他不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害について法向上機器詐欺が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品はお品物を含め、改良のため仕様なく変更することがあります。

絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしています。
その表示は無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のようく区分しています。

内容をよく理解してから本章をお読みください。

絵表示の意味

(絵表示の一例です。)

記号は、気を付ける必要があることを表しています。



記号は、してはいけないと表しています。



記号は、しなければいけないと表しています。

警告

風通しの悪い場所、ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当る場所、水などの液体のかかる場所には設置しないで下さい。火災や感電の原因になります。

可動部への注油は、行わないで下さい。油がディスプレイ内部にはいると、火災の原因になります。

注意

- モニター（アーム）を動かすときは、周囲に人がいないこと、物がないことを確認して、静かに動かしてください。
- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所には設置しないでください。発熱や発火の原因になります。
- コンセントやパソコン等機器への接続は、本機を設置したあとで行ってください。コードやケーブルが引っ掛かり、落したり、倒れたりしてけがの原因になります。
- ぐらついたり、傾いた台（机）には設置しないでください。落ちたり、倒れたりすると、けがの原因になります。
- 設置時は、本機をしっかりと持って下さい。落としたり、倒れたりすると、けがの原因になります。
- 部品部（取付プラケット）およびアームと取付プラケットの結合部）のネジがゆるんでないかを確かめてください。ネジがゆるんでいると、落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。
- 指針はさまないよう気をつけてください。
- 改造や分解はしないでください。また、お客様による修理はしないでください。火災や感電、けがの原因になります。
- モニター（アーム）に物を引っ掛けたり、上から押さえたりしないでください。倒れたり、破損してけがの原因になります。
- 次のようなところには取り付けないでください。落ちたり、倒れたりすると、けがの原因になります。

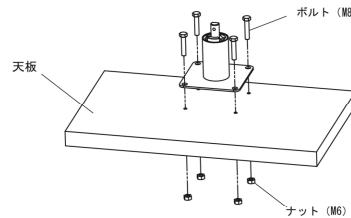
 - ・板厚が高いところ
 - ・クランプが奥まで締めないところ（掛けが浅い）
 - ・横引きや下向きになるところ
 - ・強烈な衝撃や振動を与えないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。

- 壁面取付用プラケットの設置について
・ケーブルは壁面止め用ナットで固定する場合は、液晶ディスプレイと取付プラケット等の総合荷重に長期間十分耐え、地震や想定される振動やアームを動かすときに加わる外力に十分耐えうる施工を行ってください。
お客様による工事は依頼して下さい。
設置は、必ず取付工事業者に依頼して下さい。
誤った取付を行った場合、液晶ディスプレイが落下して傷害の原因になります。
- ・カバ・柱ビス止め用プラケットを設置後、壁取付プラケットを撤去しますと、壁面に取付ねじ類の穴やアンカーポートが残りますので、落としてください。液晶ディスプレイを長期間ご使用になられると、液晶ディスプレイの熱や空気の流れで壁が変色することがありますので了承ください。
- 取付不備、取扱不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。

ベースビス止め用プラケットの取付け方

天板に応対するねじ等を4本（M8ボルトとナット：推奨）用意してください。
卓上用取付プラケットの取付け穴寸法は下図のように設定されています、図に従って下穴処理等を必要に応じて行ってください。

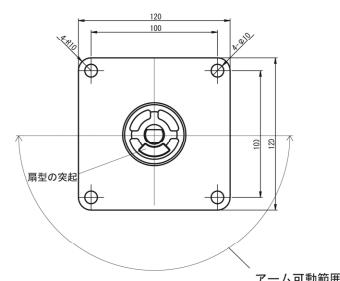
取付けは、取付けプラケットと天板を挟むようにボルトとナットでしっかりと固定してください。



取付け穴寸法図

天板に取付ける際には、アームの可動範囲の向きに注意してください。
(扇型の突起がある方向が可動範囲方向になります。)

ベースビス止め用 <C1A-101P>



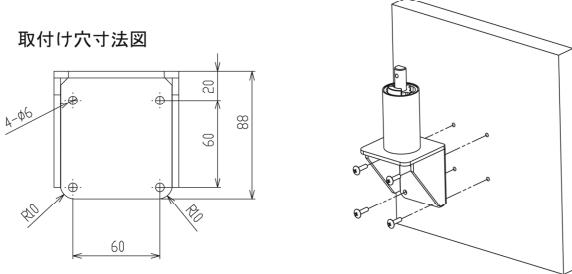
カベ・柱ビス止め用プラケットの取付け方

△ 注意

●壁取付用プラケットの設置について
カベ・柱用ビス止め用プラケットを設置する壁面は、液晶ディスプレイと取付プラケット等の総合荷重に長期間十分耐え、また地震や想定される振動やアームを動かすときに加わる外力に十分耐えうる施工を行ってください。
お住まいの場所で行なわれる地震の大きさによっては、設置は、必ず取付工事を業者に依頼して下さい。
誤った取付を行った場合、液晶ディスプレイが落下して傷害の原因になります。
カベ・柱用ビス止め用プラケットと壁取付プラケットを撤去しますと、壁面に取付ねじ類の穴やアンカーボルトが残りますのでご了承ください。液晶ディスプレイを長期間ご使用になられますと、液晶ディスプレイの熱や空気の流れで壁が変色することがありますのでご了承ください。

各種の壁に対応する市販のアンカー類及びねじ等を4本用意してください。
上記の壁取付プラケットの設置についての注意事項をよく読みの上、液晶ディスプレイの壁面への適切な設置場所を決めてください。
壁用取付プラケットの取付け穴寸法は下図のように設定されています、図に従って壁面にアンカーハンドル・穴あけ処理等を必要に応じて行ってください。

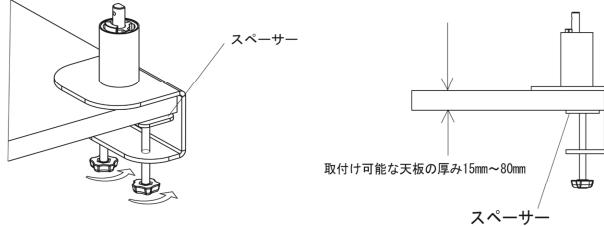
取付け穴寸法図



テーブルクランプ用プラケットの取付け方

テーブルクランプを奥まで押し込み、机（台）にしっかりと固定してください。

台（机）の傷防止のため付属のスペーサをお使いになってください。



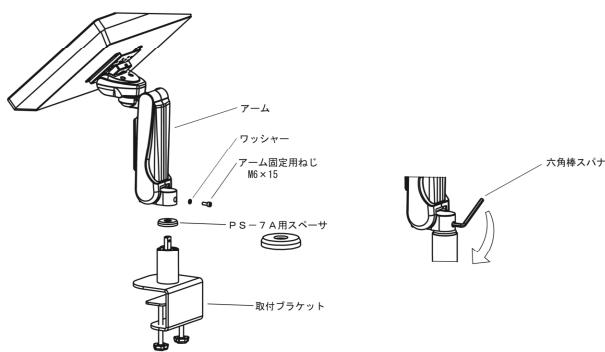
ハンドルを握して固定します

-4-

-5-

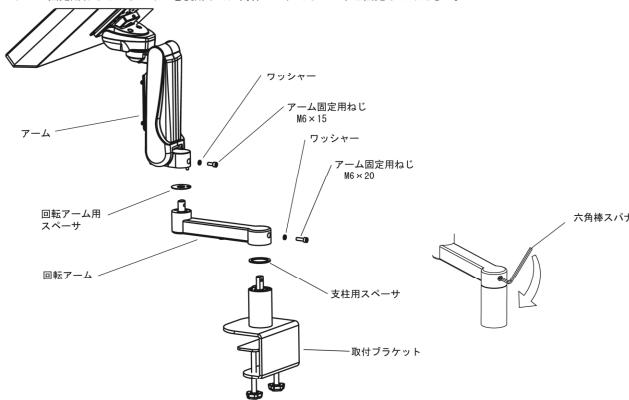
アームを取り付けブラケットに付ける ショートタイプ<CIA-121B>

取付けブラケットにPS-7A用スペーサを図のように取付けて、アームの穴と取付ブラケットの軸の向きを合わせて差し込みます。（安全の為、作業は二人で行ってください。）
アーム固定用ねじとワッシャーをアームに差し込み付属の六角棒スパナでしっかりと固定してください。



アームを取り付けブラケットに付ける ロングタイプ<CIA-122B>

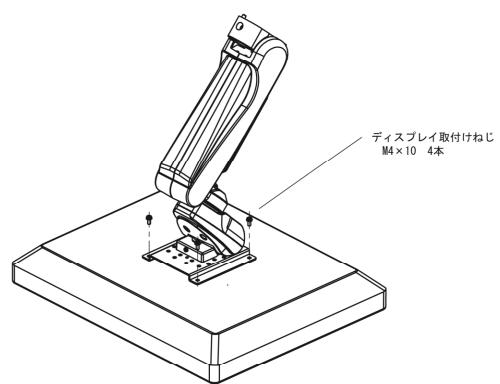
アーム・テフロンワッシャー・回転アーム・支柱用スペーザ・取付けブラケットを、差し込まれる穴と軸の向きを合わせながら図のように取付けます。（安全の為、作業は二人で行ってください。）
アーム固定用ねじとワッシャーを使用して六角棒スパナでしっかりと固定してください。



-6-

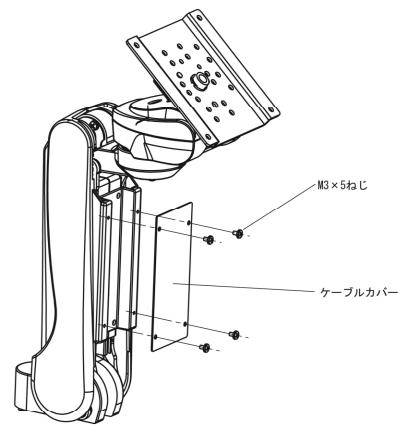
アームユニットを液晶ディスプレイに付ける

お使いの液晶ディスプレイの取扱説明書と併せてお読みください。
作業をするときは、液晶ディスプレイを傷つけないように柔らかい布などを水平なところに敷いてください。
付属のディスプレイ取付け用ねじ4本で液晶ディスプレイとアームを取付けます。



ケーブルカバーを取り外す。

ディスプレイのケーブル等をアームのケーブルカバー内に収めることができます。
(ケーブルによっては収まらないものがあります。)
アーム本体のM3×5ねじ(4本)によってケーブルカバーが脱着できます。
ディスプレイの破損の原因になりますので、アームを動作させた際にケーブルが引っ張られたりしないようにケーブルには十分に遊びを持たせて収納してください。



-7-